

宮崎公立大の 辻学長が再任



宮崎市の宮崎公立大（電田英信理事長）は16日、本年度末で任期満了を迎える学長に辻利則氏（62）の再任が決まったと発表した。2期目の任期は来年4月1日から2年間。

同大学は学長選考について5月下旬に公示。期限の8月末までに辻氏以外の推薦がなく、9月に2度開いた学長選考会議で統投が決まった。

辻氏はえびの市出身。宮崎大工学部を経て同大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻修了。宮崎公立大が開学した1993年に助手として着任し、教授、人文学部長などを経て2023年に学長に就任した。専門はシステム工学、災害情報、地域政策。